

2018.6.28<計2枚>

大阪科学・大学記者クラブ加盟各社 各位

立命館大学広報課

**立命館大学生が大阪市立科学館でサイエンスショーに初挑戦！
学生たちが企画した科学実験を通して科学の面白さを伝えます**

立命館大学の全学共通教養科目である教養ゼミナール「サイエンスコミュニケーション入門」(授業担当:船田智史・理工学部講師)の履修生 20 人が、学びの実践と科学の面白さを伝えることを目的に、大阪市立科学館(以下、科学館)の協力のもと、同館でサイエンスショーに初挑戦します。同館では、一年間の研修を修了した科学デモンストレーターによる「エキストラ実験ショー」が行われていますが、授業の一環で学生たちが主体的にショーの企画から実施までを担当するのは珍しいケースです。

「サイエンスコミュニケーション入門」は今年度初開講の科目で、「科学館などの舞台に立ってサイエンスショーをしてみたい」という学部学生が学部を問わず受講しています。授業を通じて、ショーの企画、シナリオ作成、教材の研究、広報活動、リハーサル、ショーの実施など、全てを行います。実施にあたっては、科学館の小野昌弘学芸員にアドバイザーとしてレクチャーをいただいたほか、同館学芸員によるサイエンスショーの特別見学など、全面的にバックアップをいただきました。

科学館との共同連携の取り組みの中で、学生たちは、科学を正しく理解するだけでなく、企画立案や実施体験を通して、企画力やコミュニケーションの手法を身につけます。また、学部、学年の枠を超え、刺激しあいながら協働で取り組むことで、視野や活動の幅が広がり、有意義な学びの実践の場となることを期待しています。さらには、本取り組みが、近年問題視されている日本の子どもたちの理科への興味・関心の低下や、若者の「理科離れ」の改善の一助となることを願っています。

記

日 時:2018年6月30日(土) 16:00~16:20 Eチーム(テーマ:シャボン玉)
7月8日(日) ①11:45~12:05 Dチーム(テーマ:ドライアイス)
②12:20~12:40 Cチーム(テーマ:炎色反応)
③15:45~16:05 Aチーム(テーマ:静電気)
④16:20~16:40 Bチーム(テーマ:風船)

会 場:大阪市立科学館 展示場3階 サイエンスショーコーナー
(大阪市北区中之島4-2-1)

プログラム:別紙参照

参加費:無料 ※ただし、大阪市立科学館の展示場観覧料が必要です。

主 催:立命館大学サービスラーニングセンター

協 力:大阪市立科学館

以上

●取材・内容についてのお問い合わせ先
立命館大学広報課 担当:桜井・福嶋
TEL.075-813-8300
<http://www.ritsumei.ac.jp/>

既存の枠を超えて未来をつくり出すこと
それが立命館のアイデンティティー

Beyond Borders

別紙

プログラム(●:チームリーダー) ※内容は学生作成文より抜粋

6月30日(土)

E チーム 16:00~16:20

テーマ:シャボン玉

タイトル:実はとても面白いシャボン玉

「みなさんもきっと小さい頃から馴染みのあるシャボン玉。フーと息を吹くとシャボン玉ができるのって面白いですね！そんなシャボン玉ですが、ちょっと工夫するだけでいろんなシャボン玉ができます！一緒にいろんなシャボン玉を作ってみましょう！」

メンバー:●釜下賢治郎(生命科学部 3 回生)、沼田眞希(スポーツ健康科学部 1 回生)、
首藤大揮(理工学部 1 回生)、西川かのん(経済学部 2 回生)

7月8日(日)

①D チーム 11:45~12:05

テーマ:ドライアイス

タイトル:消えるアイス！？

「少年が博士の元に持ってきたアイスが消えた！そのアイスと身近な氷を使った実験を通して物体の性質(気体、液体、固体)を博士と少年と一緒にわかりやすく説明！ショーを見たあとに分かるそのアイスの正体とは何か…？」

メンバー:●塚越陽一朗(スポーツ健康科学部 4 回生)、堀越俊行(情報理工学部 1 回生)、
山下彩里(薬学部 2 回生)、山脇翔真(情報理工学部 1 回生)

②C チーム 12:20~12:40

テーマ:炎色反応

タイトル:炎から科学の世界へ！

「今回のサイエンスショーでは、ろうそくやいろいろな色の炎を通して「燃える」についての実験をします。そもそも燃えるとは一体何なのか、あのゆらゆらした炎は一体何なのか、何が起きているのか、赤や緑の炎を見て、炎の不思議と一緒に見て学んでいきましょう。」

メンバー:●手塚大智(生命科学部 2 回生)、下條優季(情報理工学部 1 回生)、
小川慎二郎(情報理工学部 1 回生)、鈴木泰斗(生命科学部 4 回生)

③A チーム 15:45~16:05

テーマ:静電気

タイトル:ビリッワッ静電気の秘密！

「身近にある科学の不思議な現象について知ろう！冬、ドアのノブを触るときやセーターを脱いだときにビリッと感じる時がありますよね。それを静電気といいます。静電気は冬の乾燥したときによく感じます。電気にはプラスとマイナスの電気があり、同じ電気だとくっつきやすくなる特徴があり、違う電気同士だと離れる特徴を持っています。それを実際に体験してみよう！」

メンバー:●伊井祐貴(生命科学部 3 回生)、阿部千夏(経済学部 2 回生)、
根津泰之(情報理工学部 1 回生)、桑原巧(情報理工学部 1 回生)

④B チーム 16:20~16:40

テーマ:風船

タイトル:風船を使った不思議な科学実験

「この風船を使用した科学実験では、普段私たちが考えている常識をうち破るような、不思議な現象が起こります。なぜ、風船が膨らむのか？なぜ割れないのか？などいろいろな疑問をみんなで実験を見ながら解決していきましょう！」

メンバー:●溝口颯乃(生命科学部 2 回生)、服部舜(情報理工学部 3 回生)、
戸田貴仁(情報理工学部 1 回生)、高山紗世梨(情報理工学部 1 回生)